

ワクチンの効果 (厚生労働省新型コロナワクチンQ&Aより)

世界中で多くのコロナワクチンが接種されることにより、ワクチンに関するさまざまなことが分かってきました。厚生労働省HPには最新のデータや見解が掲載されていますので、接種に関する疑問や不安を感じている人はぜひ見てみてください。



▲新型コロナワクチンQ&A

発症予防効果

いずれのワクチンも、薬事承認前に海外で発症予防効果を確認するための臨床試験が実施されており、従来型のコロナウイルスの場合、ファイザー社製ワクチンでは約95%、モデルナ社製ワクチンでは約94%の発症予防効果が確認されています。

重症化予防効果

薬事承認前の臨床試験では症例数が十分ではなく解釈に注意が必要ですが、臨床試験や、承認後に実際に接種された人の情報を集めた研究などから、ワクチンの重症化予防効果を示唆する結果が報告されており、効果が期待されています。

効果の持続期間

海外で実施された臨床試験後の追跡調査の結果によると、2回目接種後6カ月の発症予防効果は、ファイザー社製ワクチンでは91.3%、モデルナ社製ワクチンでは90%以上と発表されています。

他のワクチンとの接種間隔

他のワクチンを接種する場合は、新型コロナワクチンの接種前後に2週間以上の間隔を空ける必要があります。



ワクチンについて正しく理解しましょう

ワクチン接種を受けることは強制ではありません。厚生労働省HPなど、信頼のおける場所から正しい情報を収集し、感染予防効果と副反応リスク(注射した部分の痛み、疲労、頭痛、筋肉や関節の痛み、寒気、下痢、発熱など)を理解した上で判断しましょう。

また、既に新型コロナウイルスに感染した人も、ワクチン接種を受けることができます。その場合、治療内容などによっては、接種までに一定の期間を置く必要がある場合がありますので、主治医に相談してください。



ワクチンの効果や副反応に関する問い合わせ

- ▶愛知県新型コロナウイルス感染症健康相談窓口 ☎052-954-6272 (9時~17時30分・土日祝日も実施)
- ▶夜間・休日専用窓口 ☎052-526-5887 (平日17時30分~翌日9時・土日祝日は24時間体制)

新型コロナワクチン施策などの問い合わせ

- ▶厚生労働省新型コロナワクチンコールセンター ☎0120-761770 (9時~21時・土日祝日も実施)
- ▶聴覚障害者相談窓口 FAX (03-3581-6251)、Eメール (corona-2020@mhlw.go.jp)

新型コロナウイルス関連情報

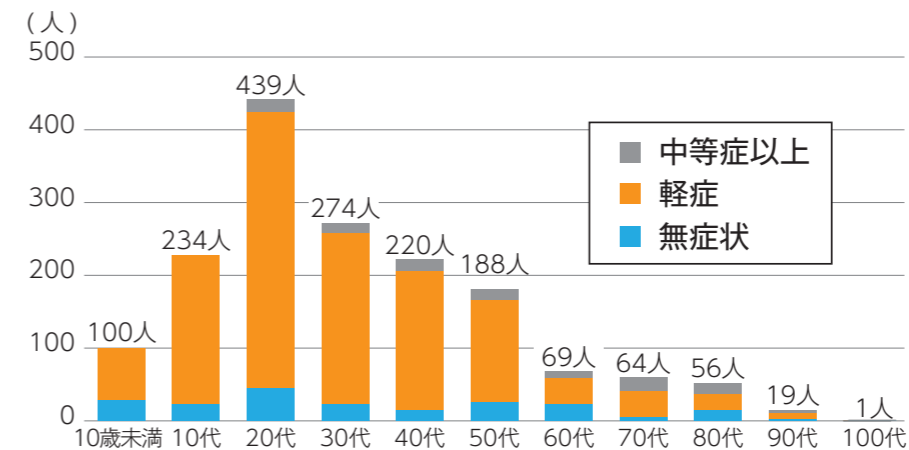
問 保健センター (☎23-8877)

市内で新型コロナウイルスの感染が初めて確認されたのが令和2年4月8日。1年7カ月もの時間が経ちましたが、未だ感染者数は増減を繰り返しています。引き続きマスクの着用や手洗いの徹底、三密を避けるなど、感染症予防対策にご協力をお願いします。

本市で確認された感染者情報や、ワクチンの接種実績を以下に紹介します。

年代・症状別の市内感染者数 (令和2年4月8日~令和3年10月18日)

ID 1003281



計 1,664人

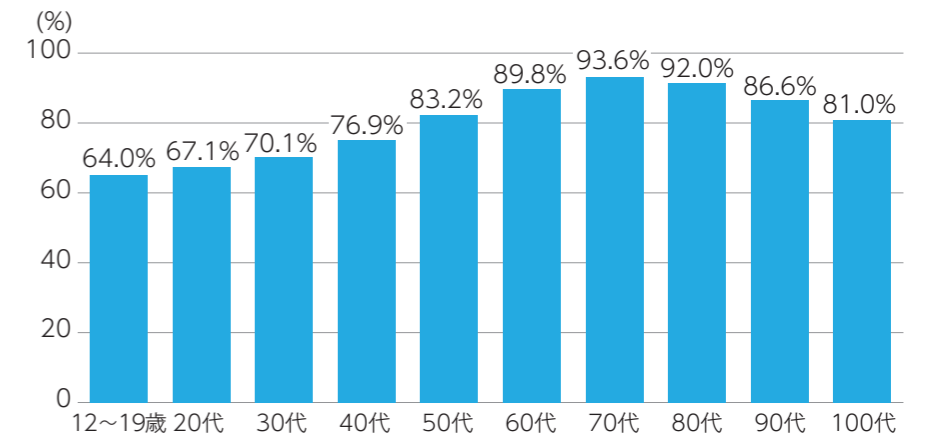
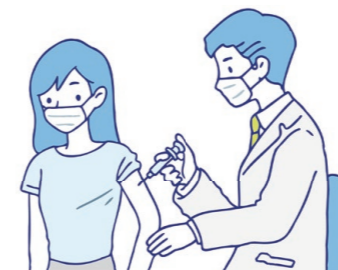


市内ワクチン1回目接種実績 (10月18日時点)

※接種率の母数は、令和3年4月1日現在の住民基本台帳による接種対象者数

ID 1008334

1回目接種完了 (全年代)
78.5%



新規陽性者数とワクチン接種の相関関係

新規陽性者のうち、
8割以上がワクチン未接種者

※令和3年7月1日から8月24日までの
県内新規陽性者に対する愛知県の調査

